

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 甘楽町

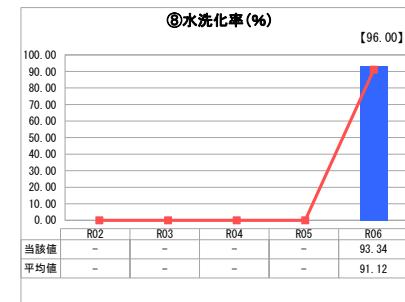
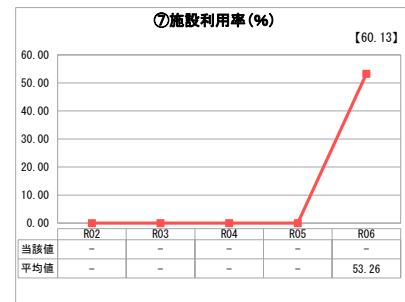
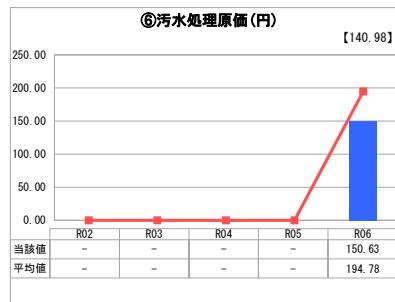
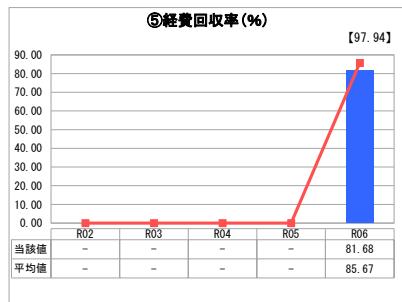
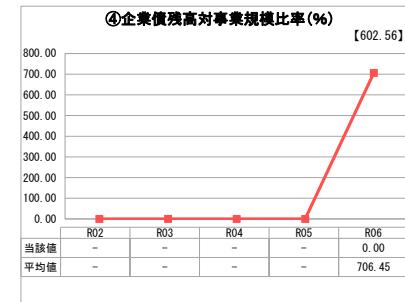
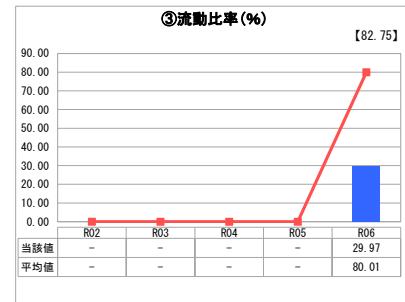
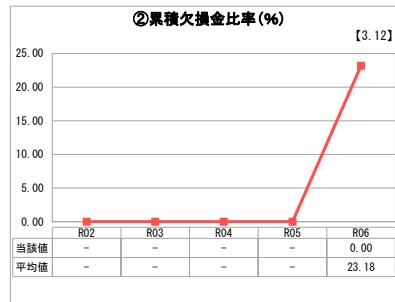
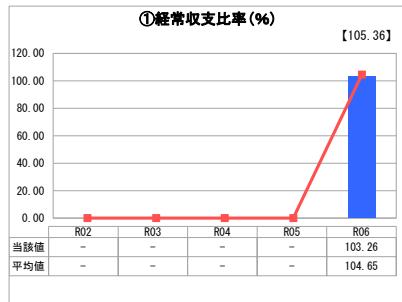
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	71.16	40.75	80.90	2,475

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,368	58.61	211.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,033	2.32	2,169.40

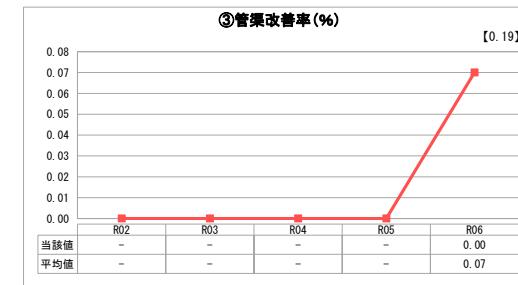
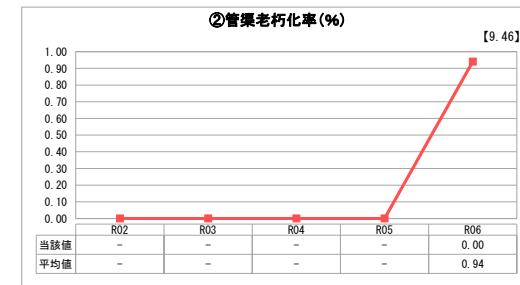
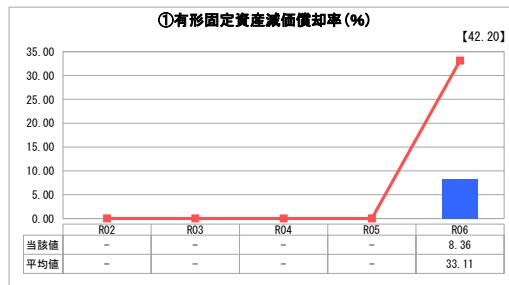
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率は健全経営の水準とされる100%を上回っているが、経費回収率が100%を下回っているため、事業に必要な費用を下水道使用料で貯えておらず、一般会計からの繰入れが不可欠な状況となっている。
- 流動比率については建設改良費等の財源に充てる企業債が多く、法適用初年度のため現金預金が少ないこと等により低い水準となっている。
- 人口は減少しているが、宅地開発により処理区域内人口、水洗便所設置済人口が増加したため、水洗化率は増加した。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却費については、法適用初年度ということもあって低い数値となっている。今後は減価償却累計額が増加していくため上昇していくことが見込まれる。

また、管渠老朽化率が%であることから、法定耐用年数を迎えた管路が無い状況となっている。今後も宅地開発等に合わせて下水道管の建設を実施していく。

全体総括

令和6年度より地方公営企業法の一部を適用し公営企業会計へ移行したことにより財政状況が明確となった。水洗化率は増加しているが、人口減少により料金収入は減少していくことが見込まれる。起債の償還など一般会計からの繰入金により賄っていることから、今後は財政状況を注視し、料金改定を視野に入れて計画的見直しをしていき、計画的な財政運営に努めていきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。